

# 彼岸会Q&A

**Q.** 彼岸会では「仏説阿弥陀経」と「讃仏偈(仏説無量寿経の一部)」をお勤めしますが、なぜ「般若心経」や「法華経」など他のお経をお勤めしないのでしょうか？

**A.** 「般若心経」、「法華経」や他のお経もお釈迦様が説かれた尊い教えであることに違いはありません。

しかし、いくらお経の中身がすばらしくても、それを受け止められるかどうかは、私たち自身の問題なのです。

宗祖親鸞聖人は、仏様の光に照らされて真実の自分の姿に気づかされます。「親鸞は地獄しか行きよのない身である…」と。すばらしいお経も自分にとっては「ネコに小判」、「豚に真珠」なのだ。

この親鸞聖人が七高僧のお導きによって、八万四千ものお経の中から「この私が救われるお経はこれしかない」と選ばれたのが、浄土三部経、「仏説無量寿経」、「仏説観無量寿経」、「仏説阿弥陀経」なのです。他のお経も尊いが、この私を目当てにした教えは、浄土三部経の中にしかないのです。

ですから、自信をもってお勤めください。私にとっては、浄土三部経以外必要ないのでから。



# 春の彼岸会

平成 22 年 3 月 18 日(木)～24日(水)

**「ご先祖と共に仏徳の讃嘆と尊い仏縁」**  
 お彼岸は、年に二回、春の日と秋分の日をはさんだ前後三日間のことを言います。春分の日、秋分の日を彼岸のお中日と言います。この日は昼と夜の長さが同じになることから「お中日」と言われます。  
 彼岸とは、現実の苦しき多い迷いの世界である此岸に対して、その苦しみや迷いを超えた悟りの世界をさした言葉です。  
 『観無量寿経』には、五眼の中の慧眼をあげて  
**慧眼は真を見て  
 能く彼岸に度る**  
 と説かれています。  
 私たちは如来よりたまわ

った真実信心の智慧によって目の前の困難な生死の苦海を、お念仏とともに渡ることが出来るのです。彼岸会はこのお法(みのり)を聴聞するのにも最もふさわしい仏事です。仏縁にめぐり遇った喜びを、ご先祖と共に、仏徳の讃嘆としてあらわす得難い縁です。  
 せっかくの彼岸会です。で、毎回分かりやすい法話もさせていただき、お供え物のお下がりもお持ち帰りいただけます。お参りしてよかったです。お参りしてよかったなあと感じていただく仏縁にしたいと思っております。是非お誘い合わせの上、お参りください。

## 春の永代経法要(4月10日(土), 11日(日)) 過去・現在・未来をつなぐお勤め

春の永代経が平成二十二年四月十日(土)、十一日(日)に勤まります。  
 浄土真宗における「永代経」とは「永代読経」の略であり、「未来永代、末永くお釈迦様の説かれた真実の教えである経(浄土三部経)が読み続けられ、その経が聞き続けられ、その教えに救済され続けられる」ことを願い勤まる法要です。多くの場合、自分に先立ち浄土に還られた方(先達・先祖)を憶念し、先達が聞き大事にしてこれらの経(教)を今を生きてこれらも頂こう、そして未来永代子々孫々にその経(教)を伝えようという願いのもと勤まるわけです。過去・現在・未来をつなぐお勤めと言ひ換えることができます。



**花祭り** お釈迦様の誕生日として正式には4月8日にお祝いする仏事です。光遍寺では春の永代経1日目の昼座の前に執り行ないます。詳細は後ほど連絡しますが、たくさんのご参加お願いいたします。

# 光遍寺新聞



第 18 号

発行所

〒638-0315  
 奈良県吉野郡  
 天川村沢原141  
 浄土真宗 本願寺派  
 仏照山 光遍寺

電話番号  
 0747-63-0638  
 ホームページ  
<http://www.kouhenji.org>

### 今月の法語

人生は  
 聴聞を続けることで  
 広く深くなる  
 (富永 正信)



# 阿弥ちゃん!!


お供え物は  
仏様や  
ご先祖様の  
食べ物では  
ありません

南無阿弥陀仏

お供え物は  
仏様や  
ご先祖様の  
喜びを  
感謝の  
気持ち  
を込めて  
いただきます



腐るまで  
お供え  
しないで  
捨てて  
ください



阿弥ちゃん!!

ある意味  
えらいけど...




## 親鸞聖人 750 回大遠忌法要 吉野南組団体参拝者募集

いよいよ親鸞聖人 750 回大遠忌(だいおんき)法要が、2011(平成 23)年 4 月から 2012(平成 24)年 1 月まで、本願寺御影堂(ごえいどう)において勤まります。吉野南組では、参拝希望者を募り団体参拝を下記の要領にて予定いたしております。詳細は未定な部分もありますが、名簿の作成上、参加予定者を把握する必要があります。参拝を希望される方は、各地区の総代様までお申し込みください。



親鸞聖人大遠忌法要は 50 年に一度の貴重な法縁です。お誘い合わせの上、老若男女一人でも多くの方にお参りいただきますようお願いいたします。

記

- 日 時:** 2011 年(平成 23 年)6 月 11 日(土)、12 日(日)  
6 月 11 日(土)午後 2 時の座に参拝いたします。
- 宿泊場所:** 雄琴温泉(予定)
- 参加費:** 約 3 万円(バス代・宿泊費込み)  
参加人数により増減はあります。
- 備考:** バスには看護師さんに同乗していただく予定です。

### 《前号(第 17 号)門信徒広場の答え》

正解：光遍寺の懸魚は「猪の目(いのめ)懸魚」  
懸魚では二番目に多く(ちなみに、一番多いのは蕪(かぶら)懸魚)、左右にハート形をした穴をくり抜いているのが特徴で、それが猪の目に似ていることから呼び名がついたようです。一度ゆっくりご覧ください。



## 門信徒 広場

親鸞聖人 750 回大遠忌法要に際して、吉野南組も団体参拝いたしますが、全国の大勢の門信徒の方々に法要参拝していただくために、団体参拝という方法が考え出されたのは、1911(明治 44)年の春に勤められた宗祖 650 回大遠忌法要のときでした。

「団参来たる、団参来たる。花の京はまさに念仏の都と化せんとなす。一日でも二万、三万という団参は梅小路と七条の両駅より入りこめり…」。

当時の京都市の人口を上回る団体参拝を大量に迎え入れるために七条の駅(現京都駅)一つではさばききれず、明治 44 年 11 月団体参詣専用の乗降駅として、梅小路駅が新設されました。

また、700 回大遠忌法要が営まれた 1961(昭和 36)年にも、団体参拝が行われ、教区指定の団体参拝数は 27 万で、それに伴う臨時列車本数は 140 本(車両数 1,246 両)という記録が残っています。さて、ここで問題です。

**【問題】 700 回大遠忌のときは、列車に加えバスによる団体参拝が大きく増加しましたが、その数は、のべ何台にのぼったでしょうか? 次の①~④のうちから一つ選んでお答えください。**

- ①141台 ②1,411台 ③10,411台 ④100,411台

分かった方は光遍寺までご連絡ください。正解者先着 5 名様まで記念品を用意しています。



1911 年(明治 44 年) 親鸞聖人 650 回大遠忌法要の写真

本願寺境内には 2500 畳の掛出しが設置されたそうです。ものすごい参拝者の数ですね。